



● JOSEI OITAとは

● JO CONTENTS

- ・今月のひと
- ・大地の親バカ日誌
- ・恋活大作戦
- ・今月のふたりの絆
- ・四方山話
- ・夜の風流記
- ・猫の目
- ・今月の親たい映画
- ・ちょっとそこまで
- ・ちょっとEe話

● JO よみもの・コラム

- ・あっちゃこっちゃお小言ル
- ・紅の筆
- ・日々百景
- ・編集長のつぶやきノート
- ・磨子からあなたへ
- ・眠り屋店主の夢の贈り物

● 自由時間クラブ「銀花」

● ハートフル・ほっとライン

● LINKS



写真上：棟上げ時の「ささき整骨院」。写真右上からベッドが並ぶ治療室と受付。カウンターや腰壁部分に日田材が使われている。下：自宅のリビング。天井や腰壁などふんだん。



日田材45万円プレゼント

福岡・大分
地域限定キャンペーン

但し、平成22年3月31日までに棟上(完成)が確認できる新築の家

顔の見える家づくり推進協議会

事務局：日田木材協同組合 日田市南友田町100-1

TEL:0973-24-2167

「日田材45万円プレゼント」が本来持っている色・つやの情報をキャッチしていた伊藤さんは、佐々木さんに利用を提案。延床面積53・35坪の木造2階建てに使った木材の約30%を支給材でまかなった。

その日田材を構造材はもちろん、整骨院の受付や治療室の腰壁の部分、3LDKの自宅のリビングは天井や腰壁にも、と木材をふんだんに使っている。日当りのいいリビングは暖房いらず。「素足が気持ちいい」と妻の美保子さん(38)。予算も含め木造のマイホームに満足の2人でした。

年、平成6年に整骨院を開業した柔道整復師の佐々木昭仁さん(44)は、整骨院を併設した自宅の建築を1年前から計画。アウニール設計の伊藤頼

日田材を補助利用 整骨院と自宅新築

賀来駅近く、医大が丘に通じる新道に沿いに10月1日オープンした「ささき整骨院」。インパクトのある2階建てで、1階が整骨院、2階が自宅になっている。

医療の仕事に従事して26年、平成6年に整骨院を開業した柔道整復師の佐々木昭仁さん(44)は、整骨院を併設した自宅の建築を1年前から計画。アウニール設計の伊藤頼

安全第一の「健康住宅」 木の温もりを感じる部屋

「整骨院ということもあり一番にお願いしたことは健康住宅。娘2人がアレルギー体質なので、自宅の方も木の温もりを感じる安心・安全の部屋にしたかった」と佐々木さん。大分方式といわれる日田市の「顔の見える家づくり推進協議会」のキャンペーン、木造住宅を新築する施工含水率が20%以下で、木材



写真左：医療の仕事に携わって26年になる柔道整復師の佐々木昭仁さん。右：インパクトのある外観。新しく出来た道沿いの中で、ひときわ目立つ。

レポート

さんに設計の他、マネージャーのような形で現場の工程管理、材料の発注などを依頼した。

記事についてのご感想をお寄せ下さい。